

科目名		医薬品安全管理学特論			担当教員名	大石 雅子
該当DP	1	単位数	2単位	選択	配当年次	1年次・第2セメスター(通期)
曜日・時限		木曜日・5限目			教室	オンライン授業
授業概要						
<p>医薬品は医療に必須であるが、医療機関内外で発生するヒヤリハット事例の中でも医薬品に関するものは4割前後を占める。医薬品安全管理は医療機関にとって重要な課題であり、医療者も職種の別なく十分な理解と認識が必要である。本講義では医薬品の安全管理全般にわたって解説し、参考事例や受講者自身の身近な事例を共有し、多職種での自由な討論で理解を深め、実践的な安全管理の手法を習得する。</p>						
到達目標						
<p>1) 医薬品の定義を理解し、特性とそのリスクを挙げることができる。 2) 医療機関、介護福祉施設、薬局、在宅等での医薬品管理に関するリスクとその回避法を挙げることができる。 3) 医薬品に関する話題を提供し、ディスカッションを主催することができる。 4) 医薬品に関する自らの問題点を明らかにし、解決の糸口をつかんで改善提案書が作成できる。</p>						
回	日程	見出し	内 容			実践的な授業方法
1	9/26	医薬品安全管理・総論(1)	講義概要の紹介、医薬品の定義の解説を行い、その後、自らの課題について自由に討論する。[ディスカッション]			○
2	10/3	医薬品安全管理・総論(2)	医療法の中の医薬品安全管理の位置づけと管理体制を学ぶ。医薬品関連インシデントや事故発生状況を知り、その背景要因について理解する。[ディスカッション]			○
3	10/10	医薬品供給部門での安全管理(1)	主に薬剤部門での医薬品取扱いの実情を学び、調剤や医薬品在庫管理に関わるリスクを理解する。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
4	10/17	医薬品供給部門での安全管理(2)	後発医薬品や麻薬・毒劇薬などの規制薬品等の管理に関わるリスクを理解する。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
5	10/24	医薬品使用部署での安全管理(1)	病棟や外来など医薬品を使用する部署での安全管理について理解し、近年の病棟薬剤業務とチーム医療について考える。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
6	10/31	医薬品使用部署での安全管理(2)	ハイリスク薬や規制薬品の安全管理について学び、持参薬使用についてのリスクとベネフィットを考える。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
7	11/7	医薬品開発・製造と安全管理	医薬品開発・製造段階や流通段階での制度と安全管理について学ぶ。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
8	11/14	医薬品情報とICT利活用	医薬品安全管理におけるICT利活用、医薬品情報の入手方法やインタビューフォーム、添付文書などの見方を学ぶ。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
9	11/28	医薬品の重篤な副作用と副作用救済制度	副作用・相互作用について学び、副作用早期発見やアレルギー情報共有を考える。また薬害事例や副作用救済制度について学ぶ。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
10	12/5	地域包括医療と医薬品安全管理	一般用医薬品や健康食品に関連する有害事象や安全管理について学ぶ。在宅医療における医薬品管理について考える。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
11	12/12	高齢者・小児・妊婦の薬物療法安全管理	高齢者・小児・妊婦の特性と薬物療法のリスクを理解する。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
12	12/19	ハイリスク薬の安全管理(1)	ハイリスク薬(インスリン、造影剤、眠剤)や話題の医薬品のリスクについて学び、それらの医薬品安全管理について理解する。[プレゼンテーション][ディスカッション]			○
13	1/9	ハイリスク薬の安全管理(2)	ハイリスク薬(抗菌薬、抗腫瘍薬など)、話題の医薬品のリスクについて学び、それらの医薬品安全管理について理解する。[ディスカッション]			○
14	1/16	医薬品に関連する過誤事例研究(1)	医薬品関連の重大な事故事例を基に取扱いや安全管理について考える。[ディスカッション]			○
15	1/23	医薬品に関連する過誤事例研究(2)	医薬品関連の重大な事故事例を基に取扱いや安全管理について考える。[ディスカッション]			○
キーワード		医薬品、安全管理、リスクポイント、対策検討		履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	講義中に参考図書等を紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業への参加状況(30%)、②話題提供(20%)、③討議への参加・貢献(20%)、④レポート(30%) [①授業への積極性、②③話題提供とそれに関連するディスカッションへの積極的な参加を評価、④改善提案書の形式と内容を評価。]				
授業時間外で必要な学修		期間中1回、医薬品に関連する話題についての発表10分と、討議座長10～15分を担当していただきます。タイムリーな話題をリサーチしておいてください。				
学生へのメッセージ		医薬品に関連する知識を深め、リスクを認識して安全管理の視点を培いましょう。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。